

第36回 通常総会議案

令和8年5月14日



一般社団法人ダム工学会

目 次

議案 1	令和7年度事業報告	1
議案 2	令和7年度収支決算報告	17
議案 3	令和7年度会計監査報告	19
議案 4	理事選任（案）	20
議案 5	監事選任（案）	21
報告 1	令和8年度事業計画	22
報告 2	令和8年度収支予算	25
報告 3	新任役員等の紹介	27
報告 4	評議委員の紹介	28
	令和7年度ダム工学会賞受賞者	29

令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年度は、会員各位の協力のもとに、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室、with Dam★Night 2025、ダム工学会賞の選定と表彰等について、必要な事業計画見直しを行いつつ、各委員会、研究部会で適切に実施した。また、編集委員会など関係委員会が連携した会誌「ダム工学」の論文投稿の活性化や一般の方向けのダム工学会ホームページ運用を進めた。さらに京都市で開催された日本河川教育学会第5回全国大会でのダム工学会の取組み紹介を通じた新たな分野との連携の他、「学」関係のダム工学会員に対するアンケート調査の実施、令和7年3月開催の「学」関係専門分野代表者による懇談会提言の会誌ダム工学9月号への掲載等を実施した。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

令和7年5月に通常総会を開催し、令和6年度事業報告及び収支決算、理事選任等について承認を得るとともに、令和7年度事業計画及び収支予算等について報告を行った。

○ 第35回 通常総会

開催日： 令和7年5月30日
場 所： 星陵会館 2Fホール
出席者数： 74名（委任状による回答者316名）
議 題： 令和6年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
理事選任、監事選任
報 告： 令和7年度事業計画及び収支予算
新任役員等の紹介
評議委員の紹介
令和6年度ダム工学会賞受賞者

(2) 理事会

以下の通り理事会を開催した。

○ 第93回 理事会

開催日： 令和7年4月24日
場 所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議 題： 第35回通常総会議案（案）について
会員状況
ダム工学会の当面の主な予定
第35回通常総会、表彰式及び特別講演会（案）
第35回通常総会、表彰式及び特別講演会について（第2報案）

- 第94回 理事会
 開催日： 令和7年5月30日
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 議題： 会長・副会長の選出について
 顧問の選出について
 表彰委員会委員の選出について
 選考委員会委員の選出について
 理事の委員会委員委嘱について
- 第95回 理事会
 開催日： 令和8年3月18日
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 議題： 令和8年度事業計画 (案) について
 令和8年度収支予算 (案) について
 報告： 令和7年度事業執行状況の報告
 会員数の推移、ダム工学会通常総会までの主な予定
 会誌「ダム工学」の内容充実に向けた取り組み状況
 今後の学会運営に関するフォローアップについて

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第46回 評議委員会
 開催日： 令和7年4月23日
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 議題： 令和7年度 理事推薦 (案) について
 令和7年度 監事推薦 (案) について
 令和7年度 評議委員 (案) について
 第35回通常総会議案 (案) について
 ダム工学会の当面の主な予定
 第35回通常総会、表彰式及び特別講演会 (案)
 第35回通常総会、表彰式及び特別講演会について (第2報案)

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会等を以下の通り開催した。

1) 企画運営委員会

- 第98回 企画運営委員会
 開催日： 令和7年4月10日
 場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 議題： 第35回通常総会議案 (案)
 ダム工学会の当面の主な予定
 第35回通常総会、表彰式及び特別講演会 (案)
 第35回通常総会、表彰式及び特別講演会について (第2報案)
- 第99回 企画運営委員会
 開催日： 令和8年2月16日
 場所： (一財)ダム技術センター CD会議室 (対面・WEB併用開催)
 議題： 令和7年度活動報告・令和8年度事業計画 (案) について
 令和7年度事業執行状況について
 令和8年度収支予算 (案) について
 ダム工学会通常総会までの主な予定
 今後の学会運営に関するフォローアップについて

○ 各小委員会の活動内容

- ① 総務小委員会
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計（会費の徴収を含む）の報告を行った。
- ② 学術研究発表会小委員会
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ③ 講習会小委員会
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ④ 現地見学会小委員会
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。
- ⑤ 広報小委員会
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
- ⑥ 活性化推進小委員会
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2025、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第142回 編集委員会
開催日： 令和7年4月15日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第143回 編集委員会
開催日： 令和7年7月10日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
関係委員会等との連携による「ダム工学」掲載内容の充実について
- 第144回 編集委員会
開催日： 令和7年10月22日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第145回 編集委員会
開催日： 令和8年1月22日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
開催日： 令和7年7月11日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 事業報告内容の確認
(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、
施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告

- 第2回 調査研究委員会
開催日： 令和7年12月19日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 事業報告内容の確認
(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、
施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告

4) ダム工学会賞の関係委員会等

- 令和6年度 ダム工学会賞表彰式
開催日： 令和7年5月30日
場所： 星陵会館 2Fホール
受賞者： 功績賞、技術功績賞、技術賞、論文賞、

- 令和7年度 技術開発賞公開審査会
開催日： 令和8年2月4日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
応募件数： 7件

- 令和7年度 選考委員会
開催日： 令和8年2月17日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 技術賞の授賞者選考
功績賞、技術功績賞、論文賞の各候補者選考

- 令和7年度 表彰委員会
開催日： 令和8年3月4日
場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
議題： 優秀発表賞、技術賞の授賞者選考経過報告
功績賞、技術功績賞、論文賞の授賞者選考

2. 行事活動

(1) 学術講演会

○ 第35回 特別講演会

開催日： 令和7年5月30日 16:30～17:30

場所： 星陵会館 2Fホール

聴講者数： 78名

講演： 日本大学 土木工学科

教授 梅田 信 氏

『ダム貯水池の水環境に関するいくつかの話題』

(2) 研究発表会（講習会と合同開催）

○ 令和7年度 研究発表会（WEB開催）

開催日： 令和7年11月20日 10:00～13:50

場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

聴講者数： 最大62名アクセス

発表論文数： 7編

優秀発表賞： （優秀発表賞選考委員会での選考）

独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所

早明浦ダム再生事業推進室 江田 友也 氏

『早明浦ダム再生事業上流仮締切設備の設計・施工 新たな
挑戦～特許取得と国内初技術採用～』

(3) 講習会（研究発表会と合同開催）

○ 令和7年度 講習会（WEB開催）

開催日： 令和7年11月20日 13:50～15:45

場所： 東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

聴講者数： 最大62名アクセス

講演： NPO法人日本水フォーラム 事務局長

細見 寛 氏

『NEXT SDGS に向けた、水循環領域のアクション提案』

京都大学 成長戦略本部 特定教授

塩谷 智基 氏

『NDT とデジタルツインが切り拓く大規模インフラの維持管理』



ダム工学会 角会長による開会挨拶



独立行政法人 水資源機構 江田氏による
発表



角会長による賞状授与



優秀発表賞選考委員会 藤田副委員長による
講評・優秀発表賞の発表



NPO 法人 日本水フォーラム 事務局長
細見 寛様による講義



京都大学 成長戦略本部 特定教授
塩屋 智基様による講義

(4) 現地見学会（日本大ダム会議と共催）

- 第48回 ダム工学会現地見学会
開 催 日： 令和7年11月27日、28日
実 施 場 所： 早明浦ダム
参加者数： 45名

(5) 活性化関連活動

- ダムなんでも相談室（CMED会と共催）
開 催 日： 令和7年8月4日
実 施 場 所： 科学技術館（東京都千代田区北の丸公園内）
概 要： 子供たちを対象として、ダムの役割と水の循環、再生可能なクリーンエネルギーや災害時の心構えについて、パネル展示やダムクイズを行った。
参加者数： 約240名
- 第10回 若手技術者のためのダム見学会
開 催 日： 令和7年9月24日、25日
実 施 場 所： 川内沢ダム、大倉ダム
参加者数： 13名
- 第12回 ダムを知るための若手技術者勉強会
開 催 日： 令和8年2月3日
実 施 場 所： （一財）ダム技術センターAB会議室（WEB開催）
概 要： 令和7年度の第2回目の企画として、土木を学ぶ学生・若手技術者を対象にダムの魅力を知ってもらうための Web 勉強会を開催した。
参加者数： 90名
- ダム好きオンライン会議室
開 催 日： 令和7年2月21日
会 議 形 式： WEB会議
概 要： “ダムプロフェッショナル”と“ダムファン”を繋ぎ、座学や雑談を通してダムに関する知識や興味、相互交流を深めることを目的としたWEB定期開催イベントを行った。
参加者数： 約70名
- ダムとダム周辺農業の関わり ―交流会―
開 催 日： 令和7年6月27日、28日
実 施 場 所： ダム見学「津軽ダム」
農業体験「青森県平川市」（対面開催）
概 要： ①ダムの役割やダムの存在意義などを学生や地域住民に適切に情報発信すること、②農作業を手伝うことにより、高齢化や人手不足など労働力不足に悩む農業の課題を解消することを目的としたイベントを行った。
参加者数： 17名 大学関係：11名(引率3名、学生8名)、
農業従事者：2名、ダム工学会：4名

○ 第2回水道ダム交流講演会

開催日： 令和7年12月16日

実施場所： 東村山駅前 サンパルネ2階コンベンションホール

概要： 東京都水道局の協力の下、水道ダムに関する歴史、課題、展望を広く社会に適切に伝えることを目標に、ダム再生の手法・事例と中島先生の関連した近代ダムを振り返るとともに、「古いダムの補強・再生技術」をテーマにパネルディスカッションを行った。

参加者数： 27名

○ with Dam★Night「2025：古今東西、フィルダムの魅力」

開催日： 令和7年7月25日

実施場所： (一財)ダム技術センター AB会議室 (WEB開催)

参加者数： 174名 (結果をYouTubeにて動画配信)

wDN プログラム		
1.	開会の挨拶	ダム工学会会長 角哲也 18:00
2.	プログラム紹介	司会：磯部祥行、コメンテーター：みつはし
3.	夜話1「フィルダムの自由性：設計と施工」	エンジニアスカワサキ
4.	夜話2「明治大正期の土堰堤」	夜雀
5.	夜話3「フィルダムの洪水吐き比べ」	萩原雅紀
	休息	
6.	夜話4「地震とフィルダム」	夜雀
7.	夜話5「洪水とフィルダム」	エンジニアスカワサキ
8.	夜話6「日本のフィルダム15選：簡単紹介」	
9.	用強美ベスト3 開票結果発表	
10.	閉会の辞	20:50

○ with Dam★Night in 東北 2025 with 北海道

開催日： 令和7年10月28日 (WEB開催)

実施場所： 西松・奥田・グリーン企画JV川内沢ダム出張所

参加者数： 43名

wDN プログラム	
司会：加納 実／権神侑貴(ダム工学会活性化小委員会東北ブロック 実行委員)	
開会挨拶	ダム工学会 会長 角 哲也
夜噺1：「歴史に消えた幻のダムを追う」	ダム愛好家 北のダムから
夜噺2：「北の大地に築くダム-東北・北海道での挑戦」	西松・奥田・グリーン企画特定建設工事共同企業体 川内沢ダム出張所 所長 小野 雄司
閉会挨拶	ダム工学会 活性化推進小員会東北地区委員長 久田 真
閉会	

- with Dam★Night in Chubu (中部・近畿)
 開催日：令和7年11月28日(対面・WEB開催)
 実施場所：ウインクあいち(対面・WEB開催)
 参加者数：会場37名(会場での公聴およびTeamsによるライブ配信)

wDN プログラム	
司会進行：夜雀様 (ダムマイスター(一般) 01-003)	
18:00～18:05：開会挨拶	角哲也 (ダム工学会 会長)
18:05～18:30：イントロダクション (土砂管理の概要)	夜雀 様 (ダムマイスター(一般) 01-003)
18:30～18:55：佐久間貯水池再開発と土砂管理戦略	恩田千早 様 (電源開発株式会社 中部支店 支店長代理 支店長代理)
18:55～19:20：ダム、土砂との関わり	佐藤正俊 様 (中部電力 電力技術研究所 研究主幹)
19:20～19:45：ダムが及ぼす河道への影響と今後期待したい役割	溝口敦子 様 (名城大学 教授)
19:45～19:55：総評 (全体所感)	戸田祐嗣 様 (名古屋大学 教授)
19:55～20:00：閉会挨拶	森本輝 様 (国土交通省 中部地方整備局 局長)

- with Dam★Night in Kyushu 2025
 開催日：令和7年11月8日
 実施場所：TKPガーデンシティ PREMIUM天神スカイホール・メインホールA
 参加者数：講演会92名(結果をYouTubeにて動画配信)

wDN プログラム	
15:00	【開会挨拶】 ダム工学会 会長 角 哲也
15:10～	【講演(1)】 「ダムの科学と技術」の概要紹介 (一財)ダム技術センター 理事 山口 嘉一
15:30～	【講演(2)】 ダムの「カタ」と「やわ」 (一財)水源地環境センター 主任研究員 最上 友香子
16:05～	【講演(3)】 ダムしか勝たん！九州ダム界限推し活報告書 (ダムマイスター 瑞梅寺 穰司)
16:25～	【講演(4)】 ダムマイスター 故古賀邦雄氏を偲んで (ダムマイスター 夜雀)
16:55～	【イベント(1)】 2025九州ダムフォトコンテスト審査発表 (ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 泉 倫光)
17:15～	【イベント(2)】 2025 wDN in Kyushu 「ダム jackpot」 (FM福岡DJ & パーソナリティー Kaede) (ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 澤田 尚、森 康彦)
17:45～	【閉会挨拶】 (ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎)

- 北海道地区 現地見学会
開催日： 令和7年10月10日
実施場所： 金山ダム、十勝橋
参加者数： 84名

- 東北地区 現地見学会
開催日： 令和7年10月28日
実施場所： 樽水ダム、川内沢ダム
参加者数： 20名

- 中部・近畿地区 現地見学会
開催日： 令和7年11月28日
実施場所： 内ヶ谷ダム
参加者数： 33名

- 中国・四国地区 現地見学会
開催日： 令和7年12月8日
実施場所： 早明浦ダム
参加者数： 22名

- 九州地区 現地見学会
開催日： 令和7年9月17日
実施場所： 寺内ダム、小石原川ダム、江川ダム
参加者数： 21名



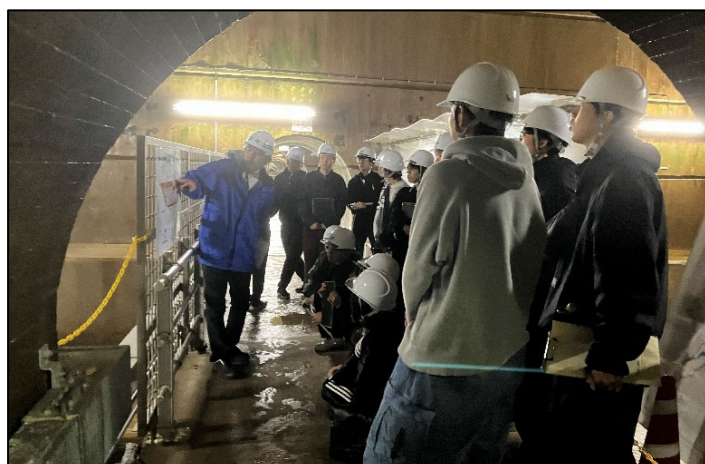
「with Dam★Night 2025 :
古今東西、フィルダムの魅力」集合写真



with Dam ★ Night in Chubu
中部・近畿地区 実施状況



若手の会 第10回 若手技術者のための
ダム見学会 実施状況 (川内沢ダム(建設中))



北海道地区 現地見学会
実施状況 (金山ダム)



中国・四国地区 現地見学会
実施状況 (早明浦ダム)



with Dam ★ Night in Kyushu
九州地区 実施状況

3. 研究活動

(1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

① コンクリートダム研究部会

研究テーマ「コンクリートダムに関わる知識・情報の体系化と継承」に着目して事例等を収集し、簡易なデータベースとして整理。これをもとにコンクリートダムの設計・施工・維持管理の観点から、継承すべき知識・情報と、現状の取り組み状況について意見交換を実施。整理・取りまとめた情報は体系化して、ダム工学会員限定としたクラウド上での共有や、AIを活用した新たなサービスへの展開なども視野に入れて議論を進めた。

- 第1回 コンクリートダム研究部会
開催日： 令和7年8月29日
会議形式： WEB会議
- 第2回 コンクリートダム研究部会
開催日： 令和7年12月8日
会議形式： WEB会議
- 第3回 コンクリートダム研究部会
開催日： 令和8年2月3日
会議形式： WEB会議

② フィルダム研究部会

研究テーマ「フィルダムの再開発における設計・施工上の留意点」について、検討の進め方、資料入手方法、事例の整理、分析方法等について議論を進めた。

- 第1回 フィルダム研究部会
開催日： 令和8年2月20日
会議形式： WEB会議

③ 地質・基礎研究部会

研究テーマ「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行った。

- 第1回 地質・基礎研究部会
開催日： 令和7年6月27日
会議形式： WEB対面併用会議
- 第2回 地質・基礎研究部会
開催日： 令和7年12月4～5日
会議形式： 現地視察(再開発ダム・近年竣工ダム・原位置せん断試験)
- 第3回 地質・基礎研究部会
開催日： 令和8年3月予定
会議形式： WEB対面併用会議

① 維持管理研究部会

研究テーマ「気候変動に伴う豪雨災害及び操作変更に伴うダム維持管理への影響調査」に令和7年度から着手し、気候変動による堆砂や流木流入への影響や事前放流等の実施によるダム維持管理への影響等について、文献調査、管理者アンケートによる実態調査等を実施した。

- 第1回 維持管理研究部会
開催日： 令和7年6月17日
会議形式： 建設技術研究所会議室 WEB 対面併用会議
- 第2回 維持管理研究部会
開催日： 令和7年7月28日
会議形式： 建設技術研究所会議室 WEB 対面併用会議
- 第3回 維持管理研究部会
開催日： 令和7年12月2日
会議形式： WEB会議
- 現地視察会・意見交換会（新成羽川ダム）
開催日： 令和8年1月26日～27日
会議形式： 中国電力本社 対面会議

② 施工研究部会

働き方改革と熟練技術者減少に対応するためのダム施工法の改善方策として、「堤内構造物等のプレキャスト化の推進」をテーマに検討を進めた。また、令和5年ダムコンクリート標準示方書にプレキャスト化の推進が明記されたが、実態調査結果ではプレキャスト化が徹底されていないことが判明したため、当初設計段階から導入する方策を検討した。

- 第1回 施工研究部会
開催日： 令和7年4月25日
 - 第2回 施工研究部会
開催日： 令和7年10月3日
 - 第3回 施工研究部会
開催日： 令和8年1月30日
- 会議形式： （一財）ダム技術センターWEB 対面併用会議（第1～3回）

③ ダム技術史研究部会

休会中であるが、中村部会長のご逝去に伴い、ダム技術史研究部会の継続の賛否について、電子メールにて部会員に確認した。今後のダム技術史研究部会の存続含めた在り方について意見聴取した結果、休止期間が7年程度継続したことに加え、仮に新部会長を決めても活動再開の機運が醸成しにくいと判断されたことから、全会一致で解散（閉会）する方針が了承された。

- 第1回 ダム技術史研究部会
開催日： 令和7年5月16日
会議形式： 電子メールによる意見聴取

④ ダム貯水池課題研究部会

過年度に実施したアンケート調査に基づき、「ダムの広報・情報発信」、「ダム技術の継承・人材育成」に関する「ダム工学会」論文を作成・投稿した。併せて、ニュースとして「日本河川教育学会全国大会への参加報告」を投稿した。

- 第1回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和7年7月16日
会議形式：Web
- 第2回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和7年10月20日
会議形式：Web
- 第3回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和8年1月8日
会議形式：Web

【ダム大規模洪水対応WG】

洪水調節に係る効果的で分かりやすい情報発信・伝達のあり方について検討し、事業者が活用できるように整理・提言することを目標に活動した。

今年度は京都府南丹市でダムと防災担当者それぞれにヒアリングやアンケート調査を行い、大規模洪水の情報発信・伝達における課題や今後の着目点を整理した。

さらに、NHKと意見交換を行い、大規模洪水時のダム側からの情報伝達に関する課題を把握した。

- 令和7年8月19日：報道関係者（NHK）との意見交換会
- 令和7年9月10日：日吉ダム、南丹市へのヒアリング
- 令和7年12月15日：第2回WG、会議形式：対面+Web

【日本河川教育学会全国大会への参加】

令和7年11月16日、「日本河川教育学会」第5回全国大会（於：京都市国際交流会館）に参加し、主に学校の先生らを対象にダム工学会の活動を紹介すると共に、ダムの働きや環境対策等の説明を実施した。

(2) 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」の1テーマを継続した。

① ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科

溝渕 利明教授

研究フィールド 全国各地域から最近完成した28ダムを選定

4. 出版活動

○学会誌「ダム工学」

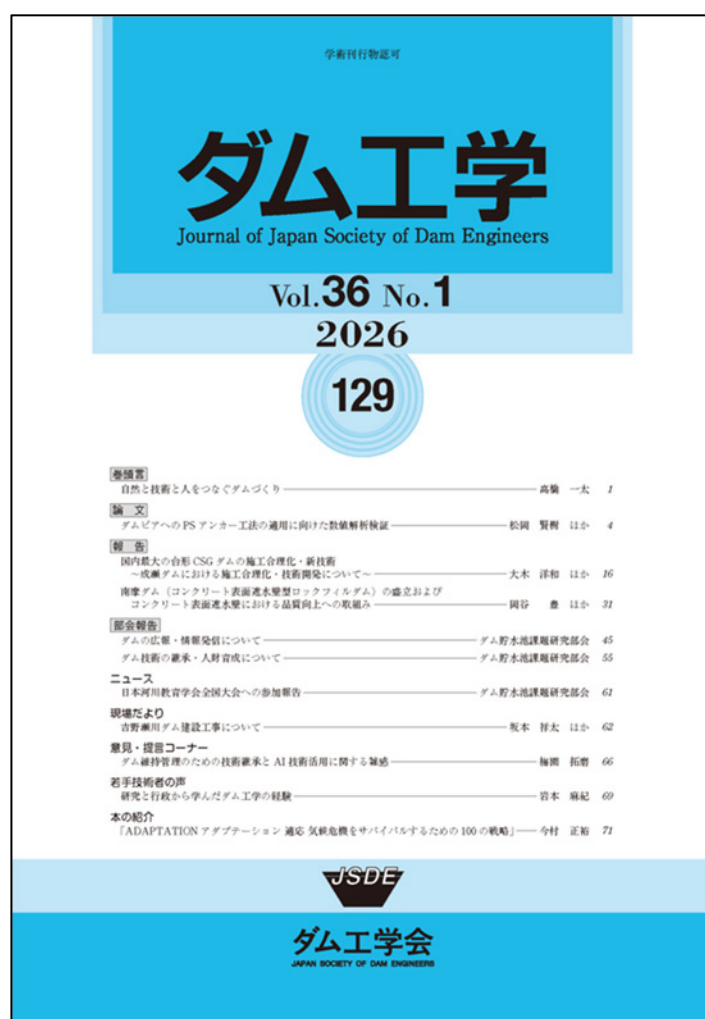
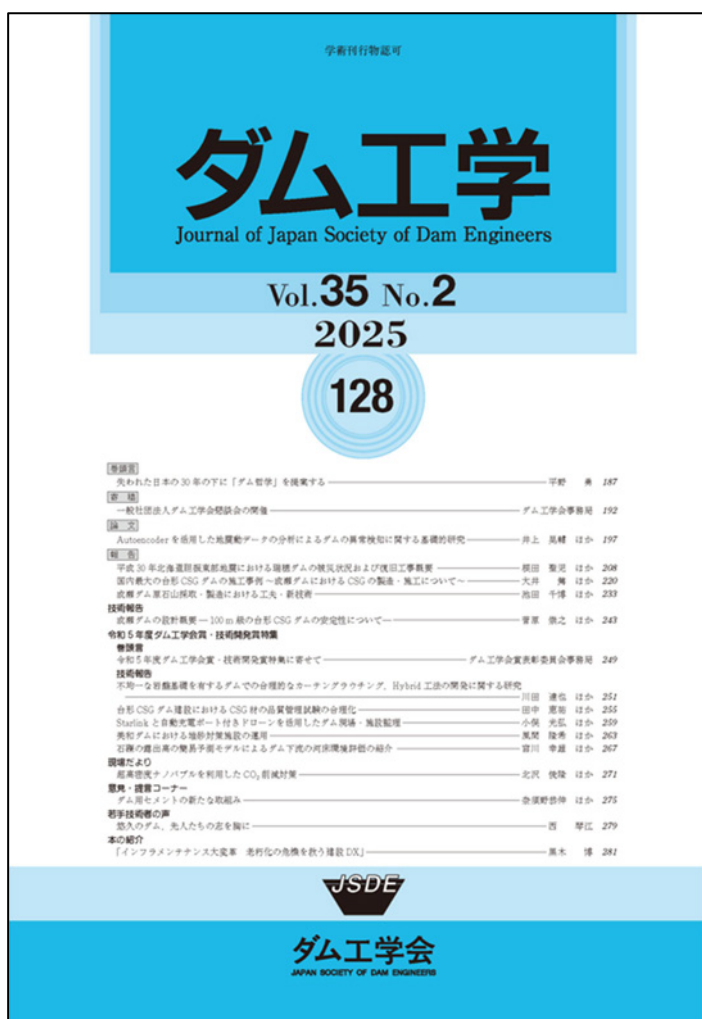
令和7年度は、2回の会誌発行を行った。社会のニーズを踏まえた技術「ダムの広報・情報発信について」、「ダム技術の継承・人材育成について」などを掲載した。

VOL.35 No.2 令和7年 9月15日発行

論 文：1件
報 告：3件
部会報告：0件

VOL.36 No.1 令和8年 3月15日発行

論 文：1件
報 告：2件
部会報告：2件



VOL. 35 No.2 令和7年 9月15日発行

VOL. 36 No.1 令和8年 3月15日発行

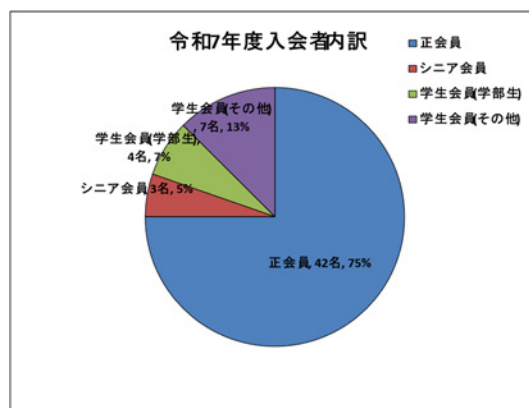
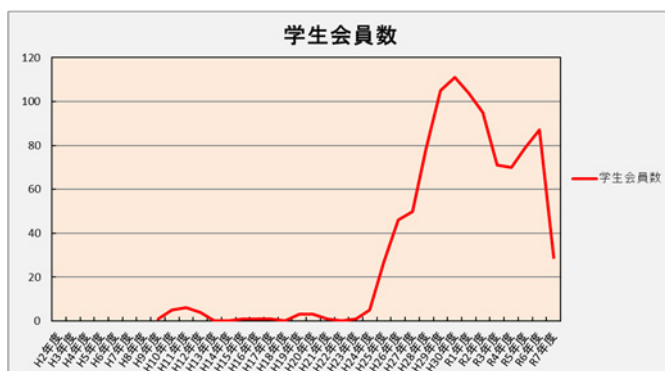
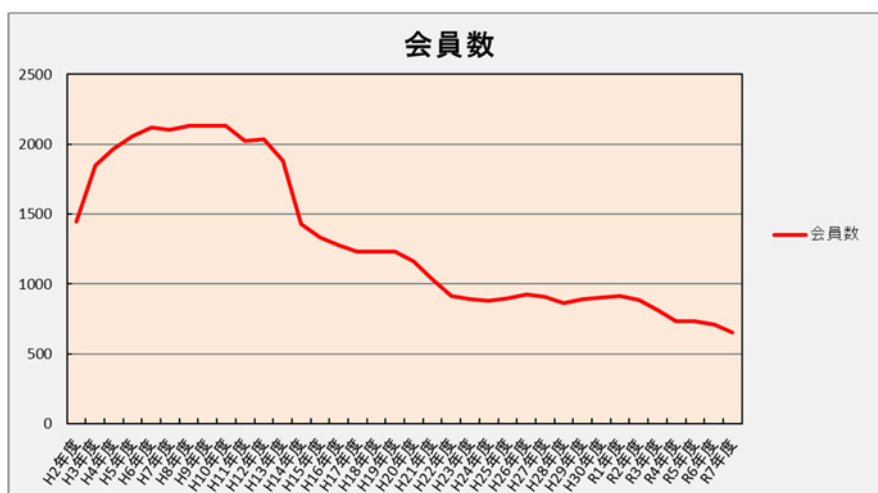
5. 会員入会状況

(1) 会員数等の推移

※会員数は年度末現在の値

会員種別	令和6年度	令和7年度	備 考
正 会 員	509名	506名	3名減 (新規42+転入2-転出8-退会39)
シニア会員	116名	119名	3名増 (新規3+転入7-転出0-退会7)
学生会員	87名	29名	58名減※ (新規11+転入1-転出2-退会5-見直し63)
合 計	712名	654名	58名減
賛助会員	52社	52社	—

※R7.12に学生会員の資格確認がとれなかった者を見直し。見直し前の前年度との比較では5名増加。



(2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会や地域活動などを通じて、参加者に対して入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象に通常総会案内を通じて正会員への移行を呼びかけた。

令和7年度 収支決算報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,800,000	9,231,240	1,568,760	
①正会員会費	3,500,000	2,791,240	708,760	469口(手数料¥23,760差し引き)+¥1,000
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	500,000	340,000	160,000	3万/6口、4万/4口
④賛助会員会費	6,800,000	6,100,000	700,000	5万/122口
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,005,000	2,142,000	△ 137,000	
①総務小委員会収入	430,000	408,000	22,000	第35回総会後の懇親会参加費
②研究発表会収入	0	0	0	
③現地見学会収入	1,215,000	1,337,000	△ 122,000	現地見学会参加費(大ダム会議と共同開催)
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	0	0	
⑥活性化推進収入	360,000	397,000	△ 37,000	
若手の会	70,000	77,000	△ 7,000	現地見学会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	16,000	4,000	現地見学会参加費
東北ブロック	30,000	19,000	11,000	現地見学会参加費
中部近畿ブロック	0	123,000	△ 123,000	with Dam Night、現地見学会参加費
中国四国ブロック	60,000	0	60,000	現地見学会参加費無
九州ブロック	180,000	162,000	18,000	with Dam Night参加費
with Dam Night 2025	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,176,000	2,861,886	△ 1,685,886	
①会誌一般頒布収入	196,000	192,000	4,000	「ダム工学」購読費(2回¥6,000)
②会誌広告料	700,000	720,000	△ 20,000	会誌広告料(会誌発行回数2回)
③抜刷別刷収入	200,000	1,868,500	△ 1,668,500	抜刷・カラー印刷(7団体+1名)
④その他収入	80,000	81,386	△ 1,386	JAC著作権使用料等分配金
4. 図書出版事業収入	30,000	18,122	11,878	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル
5. 雑収入 (①～②計)	1,591,000	1,106,408	484,592	
①補助金収入	1,590,000	1,100,000	490,000	九州地方計画協会(¥800,000)、河川基金(¥250,000)、CMED会(¥50,000)
②受取利息	1,000	6,408	△ 5,408	銀行利息
小計(1～5計)	15,602,000	15,359,656	242,344	
6. 前年度繰越金	※35,842,927	35,842,927	0	
合計(小計+6)	51,444,927	51,202,583	242,344	

※ 前年度繰越額

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,259,000	9,068,280	1,898,080	
①研究発表会支出	1,000,000	869,119	130,881	研究発表会・講習会同時開催(Web)、特別講演会講師代
②現地見学会支出	1,500,000	1,447,904	52,096	現地見学会小委員会(大ダム会議と共同開催)
③講習会支出	210,000	177,060	32,940	研究発表会・講習会同時開催(Web)、講習会講師代
④表彰関係支出	900,000	999,401	△ 99,401	表彰・選考委員会、公開審査会経費(Web)
⑤広報支出	200,000	215,050	△ 15,050	広報小委員会(HP管理費)
⑥活性化推進支出	5,665,000	5,247,603	417,397	活性化推進小委員会
若手の会	1,190,000	1,174,776	15,224	現地見学会、若手技術者勉強会経費(Web)
ダムなんでも相談室	790,000	478,995	311,005	イベント規模縮小(大ダム会議と共同開催)
北海道ブロック	430,000	393,450	36,550	現地見学会、オンライン会議室経費
東北ブロック	950,000	591,192	358,808	with Dam Night 経費(Web)、現地見学会、農業体験経費
中部近畿ブロック	530,000	620,557	△ 90,557	with Dam Night 経費(Web)、現地見学会経費
中国四国ブロック	300,000	91,210	208,790	現地見学会経費
九州ブロック	1,300,000	1,459,303	△ 159,303	with Dam Night 経費(Web)、現地見学会
with Dam Night 2025	175,000	438,120	△ 263,120	with Dam Night 経費(Web)、水道ダム交流講演会経費
⑦調査研究支出	784,000	112,143	671,857	
コンクリートダム研究部会	1,000	770	230	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	21,000	47,369	△ 26,369	現地調査、残高証明発行手数料
維持管理研究部会	51,000	59,708	△ 8,708	現地調査
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	1,000	1,656	△ 656	残高証明発行手数料令和7年度で閉会
ダム貯水池課題研究部会	10,000	2,640	7,360	残高証明発行手数料
交流研究事業	700,000	0	700,000	
2. 刊行支出	3,300,000	3,712,449	△ 412,449	
①会誌作成費	3,300,000	3,712,449	△ 412,449	送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑩計)	2,175,000	2,144,238	30,762	
①会場費	600,000	590,932	9,068	第35回総会・特別講演会・表彰式等経費
②会議費	800,000	799,471	529	総会後の懇親会
③印刷製本費	30,000	0	30,000	
④諸謝金	100,000	57,000	43,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	196,022	△ 96,022	会費請求書送付等
⑦支払手数料	150,000	60,470	89,530	振込手数料等
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	207,000	△ 7,000	会計顧問報酬・登記簿本手続き代行手数料
⑩雑費	150,000	215,175	△ 65,175	ダム日本購読料、日本工学会会費、防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	45,000	17,168	27,832	諸謝金に対する源泉徴収税
⑫その他	0	1,000	△ 1,000	会費の誤送金による返金
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	15,834,000	14,924,967	909,033	
6. 繰越金	35,610,927	36,277,616	△ 666,689	
合計 (小計+6)	51,444,927	51,202,583	242,344	

注1 15,359,656 - 14,924,967 = 434,689
注2 36,277,616(R8年度への繰越金)

令和7年度 会計監査報告

私は、ダム工学会の令和7年度収支決算報告についての監査を行った結果、収支決算報告書は適正であることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和8年4月16日

ダム工学会

監事

氏名 田畑 宏司 

氏名 佐々木 淑亮 

理 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和8年4月23日の第47回評議委員会において、下記の方々が理事に推薦された。

理 事

山口 嘉一	一般財団法人ダム技術センター	理事
溝渕 利明	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	教授
内藤 明	株式会社大林組 土木本部	フェロー
植本 実	日本工営株式会社 専門顧問	エグゼクティブエンジニア
[新任] 佐々木 隆	一般財団法人ダム技術センター	ダム技術研究所長
村上 章	京都大学大学院 総合生存学館	教授・学館長
富田 晋司	独立行政法人水資源機構	副理事長
[新任] 竜澤 宏昌	独立行政法人水資源機構	ダム事業本部長 理事
中込 淳	一般財団法人水源地環境センター	総務部 審議役
梅澤 孝行	関西電力株式会社	水力事業本部 副事業本部長
藤井 誠	中部電力株式会社	再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部長
[新任] 長谷川 悦央	清水建設株式会社	北陸支店 足羽川ダム建設所 工事長
[新任] 池田 千博	大成建設株式会社	土木本部土木技術部 ダム技術室 室長
奈須野 恭伸	鹿島建設株式会社	土木管理本部プロジェクト推進部 プロジェクト推進部長
藤田 司	株式会社安藤・間	土木事業本部 土木設計部 フェロー
小林 裕	株式会社建設技術研究所	東京本社 ダム部 顧問
三浦 義典	八千代エンジニアリング株式会社	事業統括本部 国内事業部 副事業部長 (兼) 水工部 部長
井根 健	株式会社ニュージェック	取締役
鎌屋 明	カナデビア株式会社	社会インフラ事業本部 顧問
青川 満	株式会社IHIインフラスクエア	防災・水門事業部 主席理事・ 本部長
[退任] 角 哲也	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター	産学共同研究部門 ダム再生・流砂環境再生技術 研究領域 特定教授
[退任] 乗京 正弘	飛島ホールディングス株式会社	特別顧問
[退任] 足達 謙二	独立行政法人水資源機構	理事
[退任] 黒木 博	大成建設株式会社	土木本部土木技術部ダム技術室 専任部長

議案5

監 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和8年4月23日の第47回評議委員会において、下記の方々が監事に推薦された。

監 事

佐々木 淑充 一般財団法人日本ダム協会 専務理事

田畑 宏司 電源開発株式会社 土木建築部長

令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日)

令和7年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- | | | |
|---------------|----|--------------|
| 1) 特別講演会 | 1回 | |
| 2) 研究発表会 | 1回 | } 2)、3) 合同開催 |
| 3) 講習会 | 1回 | |
| 4) 現地見学会 | 1回 | |
| 5) ダム工学会賞 表彰式 | 1回 | |
| 6) 活性化関連活動 | | |
- ・地域活動(オンライン会議室、農業体験、水道ダム交流会など)
 - ・若手の会
 - ・ダムなんでも相談室
 - ・“with Dam★Night” 東京、北海道・東北、中部・近畿、九州で開催。

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

VOL.36 No.2 2026年 9月 発行予定 (2026年 9月15日号)

VOL.37 No.1 2027年 3月 発行予定 (2027年 3月15日号)

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信及び動画配信

ダム工学会ホームページやメルマガ通信、動画配信などを活用し、ダムなどに関する見学会等のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。

3) 戦略的・効果的な広報の実施

特別講演会、研究発表会、講習会、現地見学会及び活性化関連活動等を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

4. 研究活動

1) ~6) の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 令和8年度活動内容

1) コンクリートダム研究部会

「コンクリートダムに関わる知識・情報の体系化と継承」に関して、引き続きデータベースの充実を図り、収集・整理した情報をもとに生成AIの利活用面を各委員で試行するなど、その適性確認と技術継承の在り方について方向性を検討。よりシームレスな技術継承の可能性を検討・追求する。

2) フィルダム研究部会

研究テーマ「フィルダムの再開発における設計・施工上の留意点」について、引き続き事例収集と、収集した事例の整理と分析を進める。会誌「ダム工学」への投稿論文原稿案の作成を行う。

3) 地質・基礎研究部会

研究テーマ「ダム(堤体、貯水池周辺斜面)の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議し、会誌「ダム工学」へ報文(部会報告)としてとりまとめる。併せて、新規研究テーマを検討するとともに、その研究テーマに沿うダム等への現地調査を行う。

4) 維持管理研究部会

『気候変動に伴う豪雨災害及び操作変更に伴うダム維持管理への影響調査』を引き続き実施する。

令和7年度の調査結果を踏まえて、追加調査を実施のうえ、とりまとめたダム工学への報文を作成する。

また、令和8年度後半は次年度の研究テーマについても議論する。

5) 施工研究部会

「働き方改革と熟練作業員減少への対応」に関わる小テーマ「堤内構造物等のプレキャスト化」について、現場で積極的な適用を図るために、建設コンサルタント各社との協議を行う。その結果も含めて、導入を一層促進するために、監査廊やエレベータシャフトなどの標準案や留意点を取りまとめて、会誌「ダム工学」へ部会報告を行う。また、令和8年度後半は引き続き取り組むべき新たな小テーマについて議論する。

6) ダム貯水池課題研究部会

R7年度に取りまとめた「ダムの広報・情報発信」に関する提言について、ダム事業者（地方整備局等）と意見交換を行い、その結果をフィードバックして改良を行う。

また、今後のダム技術継承及び人材育成への貢献策に関するスキーム案を検討・提案する。

「ダム大規模洪水対応WG」では、R7年度に実施した各機関へのヒアリングやアンケート調査結果を元に、洪水調節に係る効果的で分かりやすい情報発信・伝達のあり方について取りまとめを行い、事業者が活用可能となるような提言書を作成する。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」を継続する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

前年度に引き続き、解析モデル数を増やして解析を行い、温度ひび割れ発生確率曲線の作成を行っていく。

令和8年度 収支予算

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,200,000	10,800,000	△ 600,000	
①正会員会費	3,100,000	3,500,000	△ 400,000	R5-R6年度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	学生無料
③シニア会員会費	400,000	500,000	△ 100,000	R5-R6年度決算額考慮
④賛助会員会費	6,700,000	6,800,000	△ 100,000	R5-R6年度決算額考慮
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,240,000	2,005,000	235,000	
①総務小委員会収入	430,000	430,000	0	第36回総会後の懇親会参加費
②研究発表会収入	0	0	0	学研究発表会(Web)参加費無
③現地見学会収入	1,350,000	1,215,000	135,000	現地見学会参加費 (大ダム会議と合同開催)
④講習会収入	0	0	0	講習会(Web)参加費無
⑤表彰関係収入	0	0	0	
⑥活性化推進収入	460,000	360,000	100,000	活性化推進小委員会
若手の会	70,000	70,000	0	現地見学会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	河川基金、CMED会補助金除く
北海道ブロック	20,000	20,000	0	現地見学会参加費
東北ブロック	30,000	30,000	0	現地見学会参加費
中部近畿ブロック	100,000	0	100,000	with Dam Night・現地見学会参加費
中国四国ブロック	60,000	60,000	0	現地見学会参加費
九州ブロック	180,000	180,000	0	with Dam Night参加費 九州地方計画協会を除く
with Dam Night 2026	0	0	0	with Dam Night(web)
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	令和7年度で閉会
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,176,000	1,176,000	0	
①会誌一般頒布収入	196,000	196,000	0	購読会員会費 (2回¥6,000)
②会誌広告料	700,000	700,000	0	会誌広告料 (発行回数2回)
③抜刷別刷収入	200,000	200,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	80,000	80,000	0	JAC著作権使用料等分配金
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	751,000	1,591,000	△ 840,000	
①補助金収入	750,000	1,590,000	△ 840,000	九州地方計画協会(¥500,000)、河川基金(¥200,000)、CMED会(¥50,000予定)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計 (1～5計)	14,397,000	15,602,000	△ 1,205,000	
6. 前年度繰越金	※36,277,616	35,842,927	434,689	
合計 (小計+6)	50,674,616	51,444,927	△ 770,311	

※R7からR8への繰越額

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,767,500	10,259,000	1,508,500	
①研究発表会支出	1,009,000	1,000,000	9,000	研究発表会・講習会合同開催 (web)、特別講演会講師代
②現地見学会支出	1,500,000	1,500,000	0	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	250,000	210,000	40,000	研究発表会・講習会合同開催 (web)、講習会講師代
④表彰関係支出	1,100,000	900,000	200,000	表彰・選考委員会
⑤広報支出	220,000	200,000	20,000	広報小委員会(HP管理費)
⑥活性化推進支出	4,891,500	5,665,000	△ 773,500	活性化推進小委員会
若手の会	690,000	1,190,000	△ 500,000	現地見学会、若手技術者勉強会 (Web)経費
ダムなんでも相談室	485,000	790,000	△ 305,000	大ダム会議と合同開催
北海道ブロック	430,000	430,000	0	現地見学会経費、オンライン会議 室経費
東北ブロック	550,000	950,000	△ 400,000	with Dam Night、現地見学会、農 業体験経費
中部近畿ブロック	1,120,000	530,000	590,000	with Dam Night、現地見学会経費 水道ダム交流講演会
中国四国ブロック	300,000	300,000	0	現地見学会経費
九州ブロック	1,141,500	1,300,000	△ 158,500	with Dam Night、現地見学会経費
with Dam Night 2026	175,000	175,000	0	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	2,797,000	784,000	2,013,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	1,000	1,000	0	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	21,000	9,000	現地調査等 経費
維持管理研究部会	60,000	51,000	9,000	現地調査等 経費
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	1,000	△ 1,000	令和7年度で閉会
ダム貯水池課題研究部会	2,006,000	10,000	1,996,000	報告書作成費、動画作成費
交流研究事業	700,000	700,000	0	継続1テーマ 新規2テーマ(2カ年計画)
2. 刊行支出	3,300,000	3,300,000	0	
①会誌作成費	3,300,000	3,300,000	0	送料・抜刷印刷料含む (会誌発行2回、委員会4回)
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑪計)	2,175,000	2,175,000	0	
①会場費	600,000	600,000	0	(第36回総会・表彰式・特別講演 会・理事会・懇親会)
②会議費	800,000	800,000	0	(第36回総会・表彰式・特別講演 会・理事会・懇親会)
③印刷製本費	30,000	30,000	0	第36回総会
④諸謝金	100,000	100,000	0	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	100,000	0	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	150,000	150,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	200,000	0	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料、日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑪源泉徴収費	45,000	45,000	0	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	17,342,500	15,834,000	1,508,500	
6. 繰越金	33,332,116	35,610,927	△ 2,278,811	
合計 (小計+6)	50,674,616	51,444,927	△ 770,311	

R8の予算収支 ¥14,397,000 - ¥17,342,500 = ¥ -2,945,500

R7の予算収支 ¥15,602,000 - ¥15,834,000 = ¥ -232,000

新 任 役 員 等 の 紹 介

定款第23条, 第40条に基づき、令和8年5月14日の第97回理事会において選出する。

評 議 委 員 の 紹 介

定款細則第6条に基づき、令和8年4月23日の第47回評議委員会において、下記の方々が評議委員に選出された。

評議委員

- 石田 哲也 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
 矢野 真一郎 九州大学 工学研究院 環境社会部門 教授
 岸田 潔 京都大学 成長戦略本部 副本部長 / 工学研究科 都市社会工学専攻 教授
 岸 利治 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授
 藤澤 和謙 京都大学大学院 農学研究科 教授
 [新任] 浜中 直樹 東京都水道局 水源管理事務所 所長
 [新任] 福島 雅紀 国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ グループ長
 松尾 誠 独立行政法人水資源機構 ダム事業本部 ダム事業部長
 [新任] 須藤 純一 一般財団法人水源地環境センター 企画部 部長
 [新任] 佐々木 建一 東京電力ホールディングス株式会社 技術戦略ユニット 土木・建築統括室 水力技術担当
 [新任] 田中 良仁 中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部 土建エンジニアリングG グループ長 (部長)
 山根 雄一 関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 水力部長
 西浦 和幸 飛島ホールディングス株式会社 執行役員 経営戦略総括本部長
 加瀬 俊久 清水建設株式会社 土木営業本部 上席エンジニア
 糠谷 勝彦 三井住友建設株式会社 土木本部 土木総括室 担当部長
 吉野 俊 前田建設工業株式会社 土木事業本部 営業第1部 部長 (河川・農政担当) 兼 ダム担当部長
 高橋 正人 株式会社熊谷組 土木事業本部 土木技術統括部 ダム技術部長
 片岡 大到 佐藤工業株式会社 土木事業本部 技術部 部長
 鈴木 伴征 八千代エンジニアリング株式会社 北日本支店 河川・水工部 部長
 赤松 利之 株式会社ニュージェック 技術本部 河川部門長
 [新任] 高柳 彰博 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 シニアスペシャリスト
 高塚 哲 株式会社建設技術研究所 東京本社 ダム部 部長
 立花 猛 株式会社エイト日本技術開発 水管理事業部 東京支社 河川砂防分野技師長
 上出 耕三 株式会社丸島アクアシステム 技術本部 技術顧問

 [退任] 酒井 富雄 東京都水道局 建設部 施設設計課 課長
 [退任] 板垣 修 国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ グループ長
 [退任] 奥秋 芳一 一般財団法人水源地環境センター 水源地環境技術研究所長
 [退任] 恒川 明伸 東京電力ホールディングス株式会社 技術戦略ユニット土木・建築統括室 土木・建築エンジニアリングセンター 地圏土木技術グループ マネージャー
 [退任] 佐藤 正俊 中部電力株式会社 電力技術研究所 土木グループ長
 [退任] 鈴木 孝雄 日本工営株式会社 河川水資源事業部 ダム発電部 副技師長

令和7年度 ダム工学会賞受賞者

1. 功績賞

功績賞は、技術賞と同等の業績または論文賞と同等の論文発表等の積み重ねによって、ダム事業の発展やダム工学の進歩に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体、あるいはダム工学会の運営に寄与し、学会の声価を高め、その興隆に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体に対して授与する。

1) 特別功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に特に著しい貢献

授 賞 者	所 属
小長井 一男	東京大学 名誉教授

2) 功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に貢献

授 賞 者	所 属
秀島 好昭	元(独)土木研究所寒地土木研究所寒地農業基盤研究グループ長
中村 昭	
石井 秀紀	(株)ニュージェック ダムグループ
高木 秀和	ライジング・ディ(株)

2. 技術功績賞

技術功績賞は、ダムの建設・管理等の実務の積み重ねにより、ダム技術の進歩及び発展に著しい貢献をなしたと認められる個人に授与するものとする。

授 賞 者	所 属
木内 良春	
春山 勝利	(株)IHI インフラシステム 防災・水門本部
折登 康男	(株)ムツミ

3. 技術貢献賞

技術貢献賞は、ダム建設・管理等の実務において、ダム工学の進歩、発展及びダム技術の普及、継承に著しい貢献をなしたと認められる活動を行った団体に授与するものとする。

授賞者	所属
	(今年度は受賞団体なし)

4. 技術賞

技術賞は、ダムの計画、設計、施工、または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた画期的な事業または業務を実施した個人または団体に対して授与する。

事業名・業務名	授賞者
和食ダム建設事業	高知県 大成・ジョウトク・杉本土建・山本建設特定建設工事共同企業体 豊国・愛機特定建設工事共同企業体 八千代エンジニアリング(株)

5. 論文賞

論文賞は、ダム工学会が刊行する論文集「ダム工学」及び、これと同等の会誌にダム工学に関わる独創的な論文を発表し、ダム工学における学術、技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

名称	授賞対象者
音響測深機を使用したダム貯水池深浅測量における測深精度と湖底地形との関係	小柴 孝太 村上 桂山 角 哲也
間隙水圧モニタリングによるフィルダム基礎岩盤の水理地質構造同定と ICT グラウチング現場品質管理システムの構築	石黒 健 平田 昌史 古川 無何有 武田 智治 中島 秀樹
横断式網場ネット部劣化メカニズムの解明と対策	遠藤 優輝 小柴 孝太 角 哲也
Hydrogen peroxide concentration as an indicator of cyanobacterial response to diurnal variation in light intensity	野原 昭雄 秋本 淳一 浅枝 隆

6. 技術開発賞

技術開発賞は、ダムの調査、試験、設計、施工または維持管理等において、創意工夫に富む技術を開発実用化し、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

名 称	授賞対象者
建設用 3D プリンターの一般構造物プレキャスト部材への適用	小俣 光弘 屋上 佳汰 宮入 齋 北村 勇斗 高橋 敏樹 西村 俊亮 郷 富雄
ダム建設工事における 3次元流体解析を用いた施工安全性の検討~OH-FLOW の開発~	小俣 光弘 屋上 佳汰 榎木 康太 大竹 敏浩 佐藤 孝磨 山口 悟史 吉村 一樹
新しいダムコンクリート運搬設備 (SC プレミアムベルコン) の開発と実装	長谷川 悦央 岩渕 真 山下 哲一 樋川 直樹 長尾 貴浩 山口 浩 山田 悠史 藤掛 旭久 糸 純司
A I を活用したダム流入量予測システムの導入	石田 要 木藤 賢一
自然調節ダムにおける融雪期を考慮した貯水池運用	遠藤 俊彦
締固め品質の面的測定システム(Geo-DX Compaction®)の開発	田中 恵祐 松本 孝矢 大井 篤 岡本 道孝 岡本 遥河 村上 寛太
RCD コンクリートの凍結融解抵抗性の向上に関する技術開発	大井 篤 寺内 健二 藤田 祐作 室野井 敏之

7. 著作賞

著作賞は、ダム工学を体系化し、またはダム工学における新しい分野を集大成し、ダム工学、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた工学的な著作の著者、またはダム工学、ダム技術の意義あるいはダム技術者の活躍を広く世に紹介することに著しい貢献をなしたと認められた一般的な著作の著者に対して授与する。

著作名	授賞者
	(今年度は受賞なし)

令和7年度 ダム工学会技術賞 授賞ダム



和食ダム

幅広い分野の会員からなる一般社団法人ダム工学会は、工学の総合的な発展に貢献しています。



事務局 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7
URL. <http://www.jsde.jp/>